

# 令和4年度 福島市国際交流協会総会

開催日時

令和4年4月24日（日）10:30～

場 所

コラッセふくしま 多目的ホール



福島市国際交流協会

Fukushima City International Friendship Association

# 次 第

## 0. レクリエーション

(一社)ふくしま多言語フォーラム 永島 恭子 様

## 1. 開会

## 2. 会長挨拶

## 3. 事務局説明

(1) 福島市国際化の現状と事業の進捗

<参考資料>

①福島市国際化レポート

②『多文化共生のまち福島推進指針』 別紙

## 4. 議事

(1) 議案第1号 令和3年度事業報告について

(2) 議案第2号 令和3年度収支決算について

(3) 議案第3号 令和4年度事業計画(案)について

(4) 議案第4号 令和4年度収支予算(案)について

## 5. 意見交換

## 6. 閉 会

## 【議案第1号】令和3年度事業報告について

### 1 会議

- (1) 令和3年度理事会 令和3年4月28日(水)
- (2) 令和3年度総会 令和3年5月16日(日)

### 2 ふれあいネットワーク事業

#### (1) 英語講座【継続】

年間を通じて国際交流員による英語講座を開催。市内での感染拡大時期には、感染対策強化のため Zoom を使用しオンライン講座として実施。

##### ① 簡単な英語で話してみよう 全8回

- ・ 開催日：4/8、5/13、6/10、7/8、10/14、11/11、12/26、1/13
- ・ 会場：市役所本庁舎
- ・ 参加者：延べ44人

##### ② ALT・CIRと英語で話そう 全11回(うち1回オンライン開催)

- ・ 開催日：4/15、5/20、6/17、7/18、8/19、9/16、10/21、11/18、12/23、1/20、2/17
- ・ 会場：市役所本庁舎
- ・ 参加者：延べ60人



#### (2) 田植え体験【新】

地域の方と行う田植え事業に外国人住民の参加者を募り、地域住民との交流の場を創出した。

- ・ 開催日：5月23日(日)
- ・ 会場：吉井田地区
- ・ 参加者：20人



### (3) 和体験【継続】

市内の茶道教室協力のもと茶道体験を開催し、在住外国人の方に日本文化を紹介した。

- ・ 開催日：12月5日(日)
- ・ 会場：御倉邸
- ・ 参加者：10人



### (4) Ginger Bread House【新】

会員飲食店との合同事業、日本人も含む様々な国籍の方が、おかしの家を作りながら交流を行ったほか、会員店がつくる多国籍料理を楽しんだ。

- ・ 開催日：12月19日(日)
- ・ 会場：La Union
- ・ 参加者：17人



### (5) Christmas Eve at YUMORI【新】

会員店との合同事業、世界各国のクリスマス料理をバイキング形式で楽しみ、参加者全員でクリスマスイブを楽しんだ。

- ・ 開催日：12月24日(金)
- ・ 会場：YUMORI
- ・ 参加者：32人



### (6) お正月体験【新】

JA 女性部、外国人コミュニティ、和楽器教室の協力で実施したお正月文化体験イベント。正月料理を楽しんだほか、西根神社への参拝も行った。

- ・ 開催日：1月15日(土)
- ・ 会場：堀切邸
- ・ 参加者：20人



(7) 国際理解講座【継続】

学習センターの依頼に基づき、国際交流員を派遣し異文化理解講座を実施。

- ① 7月14日 飯坂学習センター（文化紹介）  
参加者：41人（高齢者）
- ② 7月15日 清水学習センター（教育）  
参加者：16人（思春期セミナー）
- ③ 7月17日 杉妻学習センター（文化紹介）  
参加者：15人（小学生）
- ④ 7月21日 飯坂学習センター（文化紹介）  
参加者：17人（ながいき大学）
- ⑤ 7月29日 北信学習センター（英会話）  
参加者：6人（小・中学生）
- ⑥ 8月2日 飯坂学習センター（英会話）  
参加者：6人（幼稚園）
- ⑦ 8月5日 北信学習センター（英会話）  
参加者：10人（小・中学生）
- ⑧ 8月7日 信夫学習センター（文化紹介）  
参加者：16人（小学生・保護者）
- ⑨ 8月20日 北信学習センター（英会話）  
参加者：8人（小・中学生）
- ⑩ 8月23日 信夫学習センター（文化紹介）  
参加者：33人（高齢者）
- ⑪ 10月2日 吾妻学習センター（文化紹介）  
参加者：14人（小・中学生）
- ⑫ 10月24日 北信学習センター（英会話）  
参加者：12人（高齢者）
- ⑬ 11月10日 北信学習センター（料理教室）  
参加者：10人（女性）



#### (8) 英会話 Café【新】

飯坂学習センターと共同開催で、CIR が講師となり旅行、料理、おもてなしなど実用的なテーマを学ぶことができる英会話教室を実施。

- ・ 開催日：通年（8回）
- ・ 会場：飯坂学習センター
- ・ 共催：飯坂学習センター
- ・ 参加者：のべ73名



#### (9) 飯坂まち歩き【新】

外国人住民と「英会話カフェ」受講生が交流しながら、飯坂温泉の名所を回り、交流の機会と受講生の実践の機会を創出。

- ・ 開催日：10月2日(土)
- ・ 会場：飯坂温泉周辺
- ・ 共催：飯坂学習センター、観光交流推進室温泉地振興係
- ・ 協賛：飯坂温泉観光協会
- ・ 参加者：17人



#### (10) 信夫地区×イラワラ地域 交換キルト展示【継続】

4年間続くオーストラリアのイラワラ地域と信夫地区の織物文化の交流の経過を作品展示によりPR。

- ・ 開催日：3月19日～30日
- ・ 会場：信夫学習センター 1階ロビー
- ・ 共催：信夫パッチワーク愛好会
- ・ 参加者：50人

### 3 結・ゆい・フェスタ開催事業

#### (1)結・ゆい・フェスタ 2021

会員団体、民間事業者、JICA 二本松、県立福島南高等学校、外国人コミュニティ等が、飲食・民芸品等の販売やワークショップ・ゲームなどのブースを出店。今年度は、軽トラ市、いきいき福祉マーケットと連携して合同開催したほか、結アンブレラスカイを展示し、多文化共生・共生社会の実現を訴えた。

- ・ 開催日：10月31日（日）
- ・ 会場：東口駅前広場、駅前通り、中合ツイン広場、いちい街なか店
- ・ 来場者：約5,000人
- ・ 参加団体：33団体
- ・ 協賛企業：10企業
- ・ 飲食店：11店舗



## (2) 結アンブレラスカイ【新】

たくさんの色の傘が並ぶ様子で、国籍や文化、言語、性別、障がい、宗教等の違いがあっても、みんなが認め合う姿を表現。

インスタグラムへの投稿イベントも開催し、市内に限らず、世界に向けて共生社会の推進を訴えた。

### ① 結アンブレラスカイ in 街なか交流館

- ・ 開催日：8月24日～10月3日
- ・ 来場者：7,208人



### (3) 結アンブレラスカイ用品貸出【新】

共生社会の意識啓発に協力いただける学校や企業に対して、結アンブレラスカイで購入した傘等の用品を無料で貸出を実施。

- ① 8月30日～9月12日 福島県立相馬高校 119本  
文化祭で使用し、共生社会について学んだ。
- ② 10月4日～12月1日 福島県聴覚支援学校 228本  
学校内で展示し、児童や保護者に共生社会の取り組みを伝えた。
- ③ 3月15日 福島県聴覚支援学校 261本  
卒業式や入学式で展示した。





#### (4)結・ゆい・ランチ

市民が食から外国文化に親しむ機会を創出するとともに、『結・ゆい・フェスタ』と協会の認知度向上を図る取り組みとして、福島市国際交流協会の会員店とタイアップで外国料理のブース・キッチンカーを出店。

※昨年度のイベント実績により、飲食店が団体会員として加入

- ・ 開催日：3月24日（水）
- ・ 会 場：福島市役所西側駐車場
- ・ 出店：8店舗
- ・ 来場者：500人（市役所など周辺官公庁・事業所職員、市役所来庁者等）
- ・ 売り上げ食数：1,180食
- ・ ランチ販売時に協会PR用のタグを配布（広報PR事業にて制作）
- ・ 市役所本庁舎に結アンブレラスカイも設置



#### 4 多文化共生推進事業

##### (1) ワクチン接種サポートスタッフ研修【新】

集団接種会場におけるサポートスタッフへの研修会の一環として多文化対応に関する講習（やさしい日本語、多言語・非言語コミュニケーション、外国人ならではの配慮について）を実施した。

- ・ 開催日：5月14日(金)
- ・ 参加者：36人
- ・ 会場：NCV ふくしまアリーナ



##### (2) 学校訪問【新】

福島大学附属小学校を訪問して異文化紹介・多文化共生意識啓発を行う講座を行ったほか、桜の聖母短期大学にて「多文化共生と地域づくり」をテーマに本市の多文化共生推進の取り組みを紹介した。

###### ① 福島大学附属小学校での講座

- ・ 開催日：6月28日(月)、29日(火)
- ・ 参加者：105人(5年生)



###### ② 桜の聖母短期大学での講座

- ・ 開催日：7月9日(金)
- ・ 参加者：50人



### (3) 外国人のための防災講座【継続】

(公財)福島県国際交流協会との共同開催により、町内会と協力して外国人の方も含めた地域での防災講座を実施した。外国人にも伝わるやさしい日本語講座を行ったほか、危機管理室協力のもと、福島市で起きる災害を学び、災害時に活用できるDIYも体験した。

- ・ 開催日：11月28日(日)
- ・ 会場：福島日本語学院
- ・ 参加者：16人(仲間町及び近隣住民10名、福島日本語学院留学生6名)



### (4) 福島市消防英会話レッスン【継続】

福島市消防本部通信指令課と連携し、通信指令隊員への国際交流員による英語レッスンを実施。英語だけではなく、外国人からの通報に対応する際に必要となる知識などもレクチャーしている。

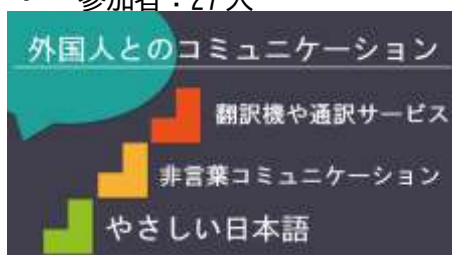
- ・ 実施：8回
- ・ 参加者：31人



### (5) YUMORI 外国人対応とコミュニケーション研修【新】

本市の在住外国人の国籍や言語の紹介をしたうえで、多言語の方に共通して伝えることができる「やさしい日本語」を活用したおもてなしの研修を行った。

- ・ 開催日：3月25日(金)
- ・ 会場：YUMORI
- ・ 参加者：27人



(6) 外国人向け生活情報発信【継続】

協会 Facebook ページ、協会ホームページにおいて、生活・行政・災害等の情報を多言語で発信。令和3年6月からは新たにインスタグラムを開設し、食や観光、イベントなどの身近な生活情報も発信している。



(7) 結アンブレラスカイ in 福島市役所

転入転出などにより、来庁者が多くなる時期に合わせて、1階ロビーで結アンブレラスカイを開催し、多文化共生の意識啓発を行った。

- ・ 開催日：3月14日～4月28日
- ・ 展示期間中に結・ゆい・ランチも開催し、意識啓発を推進した。



## 5 国際交流団体等との連携事業

### (1) 国際交流推進団体助成事業【継続】

国際交流団体等による市内での国際交流推進事業等へ助成金を交付。

・交付実績：3団体3事業

国際ソロプチミスト福島 『福島大学留学生との交流会』

蓬萊日本語教室 『外国にルーツを持つ子どもへの日本語教育初任者研修会』

ふくしま青年海外協力隊 『からふるカフェ』

### (2) 会員団体広報支援【継続】

団体会員、協賛会員の情報を協会ホームページや Facebook ページに掲載。

## 6 広報 PR 事業

### (1) 協会ホームページ運営【継続】

イベントの告知や活動報告のほか、日本語教育支援などの生活情報を掲載している。

表 1) 福島市国際交流協会ホームページアクセス数

年度	アクセス数	対前年増減数	対前年増減率
H30 年度	13,679	—	—
R 元年度	13,931	252	1.8%
R2 年度	19,868	5,937	42.6%
<b>R3 年度</b>	<b>27,231</b>	<b>7,363</b>	<b>37.1%</b>

### (2) Facebook ページ運営【継続】

Facebook ページにおける生活情報発信を相談窓口相談員と協力して発信し、外国人住民のニーズに合ったタイムリーな情報発信を実施している。

表 2) 福島市国際交流協会 Facebook ページ投稿数および閲覧数

年度	投稿数	閲覧数	1 投稿あたりの 平均閲覧数
R 元年度 (R1.6~R2.3)	76	1,946	26
R2 年度 (R2.4~R3.3)	195	27,295	140
<b>R3 年度 (R3.4~R4.3)</b>	<b>176</b>	<b>24,874</b>	<b>141.3</b>

(3) Instagramの運営【新】

2021年6月に新たに開設、食や観光、イベントなどの身近な生活情報を英語とやさしい日本語で発信している。

表3) 福島市国際交流協会 Instagram 投稿数及び閲覧数

年度	投稿数	閲覧数	1投稿あたりの平均閲覧数
R3年度 (R3.4~R4.3)	79	11,600	146.8

(4) 福島市国際交流協会バックパネル作成【新】

イベントや展示の際に本協会の広報力を強化するため、バックパネルの制作を行った。結アンブレラスカイや結・ゆい・フェスタ、各種事業の際に活用することで協会の認知度向上を図る。

(5) 協会タグの作成【新】

「結・ゆい・フェスタ」や「結・ゆい・ランチ」など物販を伴うイベントで配布する本協会のPR用品を制作。



(6) 会報誌発行【継続】

ユニバース No. 86~88

## 7 外国人生活相談窓口

福島市と共同で福島市役所1階において外国人生活相談窓口の開設・運営を行った。専門の相談員を配置し、外国人向け生活ガイドブック『KORANSHO GUIDE』や多言語パンフレット等の配布、多言語翻訳機等も活用した生活相談の対応を行う。

Facebook ページを活用したワクチン予約動画の配信など生活情報を発信したほか、繁忙期や休日に、駅前施設での出張相談や臨時開設を行った。

- ・ 相談件数

年度	相談件数	対前年増加率
令和2年度 (R2.8~R3.3)	171件	—
令和3年度 (R3.4~R4.3)	450件	163%

- ・ 相談内容：転入手続き、税金、教育、コロナ支援金、等
- ・ 出張・休日相談：3件



8 その他事業

後援・共催事業

		事業名	実施団体	開催日
1	後援	外国にルーツを持つ子どもたちのための土曜広場	ふくしま子どもの日本語ネットワーク	通年
2	後援	高齢者学級寿大学 教養講座「国際理解」	中央学習センター	7月30日
3	後援	親子ふれあい広場 「信陵わいわい広場 - 国際交流フェスタ -」	信陵学習センター	8月7日
4	後援	外国にルーツを持つ子どもへの日本語教育初任者研修会	蓬莱日本語教室	8月21日、9月5日 9月12日、10月2日、 10月16日
5	後援	「ジュニアリーダー教室」 これってアリ？（国際交流講座）	もちずり学習センター	11月6日
6	後援	外国にルーツを持つ子どもたちのための進路相談会	ふくしま子どもの日本語ネットワーク	11月13日
7	後援	「日台友情花藝写真展」	福島前進団 2021	1月26日～1月31日
中止になった事業				
8	後援	少年学級「がき大将の集い」 第10回講座	信陵学習センター	2月13日 ※コロナ感染拡大により中止



## 9 事業実績概要

福島市の多文化共生事業の推進母体として、『多文化共生のまち福島推進指針』に基づく多文化共生意識の醸成や外国人住民支援のための事業企画・運営を行った。

令和3年度に実施した協会主催事業実績および、『多文化共生のまち福島推進指針』で示された多文化共生社会実現のための施策目標との対応関係は表3の通り。

<福島市『多文化共生のまち福島推進指針』施策目標>

- 施策目標1** 国籍や文化的差異にかかわらず、相互に理解し、互いに尊重し合う共生社会を推進します。
- 施策目標2** 外国人等が不安なく本市を訪れ、暮らすことができるよう、適切な情報伝達・共有手段の確保に努めます。
- 施策目標3** 日本語教育や国際理解の推進等により、外国人等との円滑なコミュニケーションの実現を図ります。
- 施策目標4** 外国人等を取り巻く生活サービス・環境の改善に努めます。
- 施策目標5** 外国人等の生活状況やニーズの把握に努め、地域の国際化や外国人等の受入れに関する施策の充実・強化に努めます。
- 施策目標6** 外国人等受入施策を包括的に推進するための体制整備を図ります。

表3) 実施事業実績および施策目標の対応表

事業名	回数等	参加者数等	該当する指針施策目標
ふれあいネットワーク事業			
英語講座	19回	参加者 延べ104人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
田植え体験	1回	参加者 20人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
和体験	1回	参加者 10人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
Ginger Bread House	1回	参加者 17人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
Christmas Eve at YUMORI	1回	参加者 32人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
お正月体験	1回	参加者 20人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
国際理解講座	13回	参加者 延べ204人	① 相互理解 ③ 国際理解推進
英会話 Café	8回	参加者 延べ73人	① 相互理解 ③ コミュニケーション

飯坂まち歩き	1回	参加者 17人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
信夫地区 x イラワラ地域 交換キルト展示	1回	参加者 50人	① 相互理解 ② 正確な情報・魅力発信
結・ゆい・フェスタ開催事業			
結・ゆい・フェスタ 2021	1回	来場者 延べ 5,000人	① 相互理解 ③ コミュニティ支援
結アンブレラスカイ in 街なか交流館	1回	来場者 延べ 7,208人	① 相互理解
結アンブレラスカイ用品貸出	3回	—	① 相互理解 ⑥ 連携強化
結・ゆい・ランチ	1回	来場者延べ 500人	① 相互理解
多文化共生推進事業			
ワクチン接種 サポートスタッフ研修	1回	参加者 36人	② 生活情報の多言語化 ④ 受け入れ環境整備 ⑥ 連携強化
学校訪問	3回	参加者 155人	① 相互理解 ③ コミュニケーション
外国人のための防災講座	1回	参加者 16人	④ 受け入れ環境整備 ⑤ 地域国際化
福島市消防英会話レッスン	8回	参加者 31人	④ 受け入れ環境整備
外国人対応と コミュニケーション研修	1回	参加者 27人	④ 受け入れ環境整備 ⑤ 地域国際化
外国人向け生活情報発信 (Facebook・Instagram 運営)	投稿数 255件	閲覧数 36,474	② 生活情報の多言語化
結アンブレラスカイ in 福島市役所	—		
国際交流団体等との連携事業			
国際交流推進団体助成事業	3事業		③ コミュニティ支援 ⑥ 連携強化
会員団体広報支援	—		③ コミュニティ支援 ⑥ 連携強化
外国人生活相談窓口開設・運営事業			
生活相談業務	450件		④ 受け入れ環境整備 ⑤ ニーズ把握

【第2号議案】令和3年度収支決算（案）について

◎収支決算総括表 【(A) + (B) + (C) + (D)】

【収入の部】令和3年度決算 10,979,122円

【支出の部】令和3年度決算 10,200,817円

【差引残額】 778,305円（翌年度繰越額）

【収入の部】

（単位：円）

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
会費	285,000	389,000	104,000	(B) 市国際交流協会会費
参加費	70,000	21,900	△ 48,100	(A) ふれあいネットワーク事業参加費 18,900 (D) 出張！結ゆいランチ出店料 3,000
補助金	8,147,000	8,050,000	△ 97,000	(A) 市国際交流協会事業費補助金 1,900,000 (C) 外国人受入環境整備補助金 4,150,000 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金 2,000,000
前年度繰越金	2,419,552	2,419,552	0	(B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 522,562 (C) 外国人受入環境整備事業 1,896,990
寄附金	100,000	98,630	△ 1,370	(D) 結・ゆい・フェスタ協賛金
雑入	1,448	40	△ 1,408	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業(預金利子) 14 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業(預金利子) 3 (C) 外国人受入環境整備事業(預金利子) 19 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業(預金利子) 4
計	11,023,000	10,979,122	△ 43,878	

【支出の部】

（単位：円）

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
会議費	150,000	38,224	△ 111,776	(B) 理事会、総会経費
事務費	177,196	196,218	19,022	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 164,165 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 25,453 (C) 外国人受入環境整備事業 6,600
事業費	8,682,804	8,059,385	△ 623,419	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 1,660,981 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 218,800 (C) 外国人受入環境整備事業 4,107,770 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業 2,071,834
諸支出金	1,906,990	1,906,990	0	(A) (公財) 福島県国際交流協会賛助会費 10,000 (C) 令和2年度外国人受入環境整備補助金戻出 1,896,990
予備費	106,010	0	△ 106,010	
計	11,023,000	10,200,817	△ 822,183	

収入済額合計 10,979,122円 - 支出済額合計1,020,087円 = 差引残額 778,305円

## ◆福島市国際交流協会事業費補助金対象事業（A）

【収入の部】

（単位：円）

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
参加費	20,000	18,900	△ 1,100	○ふれあいネットワーク事業参加費
補助金	2,125,000	1,900,000	△ 225,000	○福島市 事業費補助金
前年度繰越金	0	0	0	
雑入	1,010	14	△ 996	
計	2,146,010	1,918,914	△ 227,096	

## ●減額理由

新型コロナウイルスの影響により留学生の参加を得ることができず、中島記念財団留学生地域交流事業補助金を返納したため。

【支出の部】

（単位：円）

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
事務費	150,000	164,165	14,165	○事務用品購入、補助金返納振込手数料 164,165
事業費	1,985,000	1,660,981	△ 324,019	○ふれあいネットワーク事業 363,769 ○多文化共生支援事業 479,414 ○国際交流団体との連携事業 34,210 ○広報PR事業 783,588
諸支出金	10,000	10,000	0	○（公財）福島県国際交流協会賛助会費
予備費	1,010	0	△ 1,010	
計	2,146,010	1,835,146	△ 310,864	

収入済額合計1,918,914円 - 支出済額合計1,835,146円 = 差引残額83,768円

差引残額全額を翌年度に繰り越し、諸支出金（令和3年度福島市国際交流協会事業費補助金戻出（過年度精算金））として全額支出する。

## ◆福島市国際交流協会事業費補助金対象外事業（B）

【収入の部】

（単位：円）

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
会費	285,000	389,000	104,000	○一般会員1,000円×67名 67,000 ○学生会員500円×14名 7,000 ○団体会員10,000円×29団体 290,000 ○協賛会員5,000円×5団体 25,000
前年度繰越金	522,562	522,562	0	
雑入	438	3	△ 435	○預金利息
計	808,000	911,565	103,565	

【支出の部】

（単位：円）

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
会議費	150,000	38,224	△ 111,776	○理事会、総会開催費（資料送付、駐車場代） 19,476 ○総会お土産代 18,748
事務費	0	25,453	25,453	○事務用品購入 4,166 ○年会費振込手数料 11,057 ○ウクライナ募金現金整理・振込手数料 10,230
事業費	553,000	218,800	△ 334,200	○会員向け会報誌・イベントチラシ送付 39,500 ○会員グッズ作成 63,250 ○役員名刺作成 116,050
予備費	105,000	0	△ 105,000	
計	808,000	282,477	△ 525,523	

収入済額合計911,565円 - 支出済額合計282,477円 = 差引残額629,088円

差引残額全額を翌年度に繰り越し。

◆福島市外国人受入環境整備事業（C）

【収入の部】

（単位：円）

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
補助金	4,022,000	4,150,000	128,000	○福島市 外国人受入環境整備補助金（運営事業） 4,022,000 ○福島市 外国人受入環境整備補助金（整備事業） 128,000
前年度繰越金	1,896,990	1,896,990	0	○R2年度外国人受入環境整備補助金戻入充当金
雑入	0	19	19	○預金利息
計	5,918,990	6,047,009	128,019	

【支出の部】

（単位：円）

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
事務費	7,196	6,600	△ 596	○委託料振込手数料
事業費	4,014,804	4,107,770	92,966	○相談業務委託料 3,960,000 ○通信環境整備業務委託料 54,820 ○環境整備事業（備品購入） 92,950
諸支出金	1,896,990	1,896,990	0	○令和2年度外国人受入環境整備補助金戻出（過年度精算金）
計	5,918,990	6,011,360	92,370	

収入済額合計6,047,009円 - 支出済額合計6,011,360円 = 差引残額35,649円

差引残額全額を翌年度に繰り越し、諸支出金（令和3年度福島市外国人受入環境整備補助金戻出（過年度精算金））として全額支出する。

◆結・ゆい・フェスタ開催事業（D）

【収入の部】

（単位：円）

科目	予算額	収入済額	増△減	説明
参加費	50,000	3,000	△ 47,000	○出張！結ゆいランチ出店料@3,000円×1店
補助金	2,000,000	2,000,000	0	○福島市結ゆいフェスタ開催事業費補助金
寄附金	100,000	98,630	△ 1,370	○結・ゆい・フェスタ協賛金 @5,000円×20口（9団体）－振込手数料1,370円
雑入	0	4	4	○預金利息
計	2,150,000	2,101,634	△ 48,366	

【支出の部】

（単位：円）

科目	予算額	支出済額	増△減	説明
事務費	20,000	0	△ 20,000	
事業費	2,130,000	2,071,834	△ 58,166	○結アンブレラスカイ開催事業 1,142,711 ○結・ゆい・フェスタ開催事業 482,303 ○出張！結ゆいランチ開催事業 446,820
計	2,150,000	2,071,834	△ 78,166	

収入済額合計2,101,634円 - 支出済額合計2,071,834円 = 差引残額29,800円

差引残額全額を翌年度に繰り越し、諸支出金（令和3年度結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金戻出（過年度精算金））として全額支出する。

# 監査報告書

福島市国際交流協会の令和3年度事業内容及び収入支出決算について監査したところ、帳簿及び証拠書類は整備されており、その執行は適正と認められましたので報告します。

令和4年4月19日

監 事

ふくしま・ベトナム友好協会

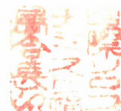
監 事 永倉 禮司



監 事

国際ソロプチミスト福島

会 長 渡辺 都



## 【議案第3号】令和4年度事業計画（案）について

### 1 会議

- (1) 令和4年度福島市国際交流協会理事会
  - ② 日程 4月20日（水）
  - ③ 場所 福島市役所7階会議室
- (2) 令和4年度福島市国際交流協会総会
  - ①日程 4月24日（日）
  - ②場所 コラッセふくしま

### 2 ふれあいネットワーク事業

#### (1) 目的

在住外国人、留学生、市民団体、一般市民、事業所との交流ネットワークの構築および、多文化共生の意識の醸成を図る。

#### (2) 内容（予定）

1	簡単な英語で話してみよう！	4月から2月 毎月1回
2	ALT・CIRと英語で話そう！	4月から2月 毎月1回
3	花見ピクニック	4月10日（日）
4	わくわくアフリカンリズム	4月から3月 不定期
5	英会話Café（飯坂学習センター共催事業）	5月から3月 全11回
6	国際ボードゲーム大会	5月・2月 各1回
7	土湯おもてなし交流	6月
8	わらじ祭り参加	8月
9	ハロウィンクラフト	10月
10	台湾フェス	10月
11	和体験	11月
12	留学生地域交流事業	1月
13	クラフトエクスチェンジ	通年

### 3 結・ゆい・フェスタ 2022 開催事業【継続】

外国人住民や国際交流団体等との交流を通して、幅広い世代に国際交流や多文化共生に関心を持っていただく契機となる、本市の多文化共生社会推進を象徴するイベントを目指す。

#### ・ 「アンブレラスカイ」の展示

国籍や文化が異なる人々が互いを認め尊重し合い、それぞれのカラーで輝くことができる多文化共生社会の象徴として、色とりどりの傘で会場を装飾する。イ

ンスタ映えを狙った集客効果と、イベントの認知度アップを図るアイキャッチとして導入。

※市施設での展示や民間施設への貸出等も推進し、結・アンブレラ単独での開催も行う

- ・ 他イベントとのタイアップ  
福島駅周辺で開催する他イベントとタイアップで開催することにより、来場者が相互に往来する相乗効果を狙う。
- ・ 音楽やダンスを用いて多文化共生を表現  
学校や市民団体等にご協力いただき、音楽やダンスなどの表現によって多文化共生の意識啓発を行う。聴覚で多文化共生を伝えることも加える。

#### 4 多文化共生支援事業

##### (1) 多言語情報発信【継続】

外国人住民向け生活・防災・保健情報の多言語（やさしい日本語を含む）による発信を行う。なお、情報発信の一部は外国人生活相談窓口の相談員に委託し、外国人住民のニーズに合ったタイムリーな情報発信を図る。

##### (2) ボランティア登録制度【継続】

通訳・翻訳ボランティア、日本語ボランティア、ホストファミリーボランティアの募集、研修会の案内、活動の紹介等を行う。

福島市事業「外国の子どもサポーター派遣事業」へ日本語ボランティアおよび通訳・翻訳ボランティア登録者の人材紹介を行う。

##### (3) 消防通信指令課英会話レッスン【継続】

福島市消防本部通信指令課と連携し、通信指令隊員への国際交流員による英語レッスンを実施する。

##### (4) 外国人防災サポーター養成講座【継続】

外国人住民の中心となって防災情報の発信や、発災時に日本人・外国人双方の支援とパイプ役を担う外国人防災サポーターを育成する。

##### (5) 訪問型日本語教室【新規】

公共施設などで日本語学習機会を必要とする方への訪問学習を行い、外国出身者の日本語能力の向上を図り、生活支援へとつなげる。

#### 5 国際交流団体等との連携事業

##### (1) 国際交流推進団体助成【継続】

会員団体が行う国際交流・多文化共生推進に資する事業に対して、助成金を交付する。(1団体1事業、半額補助、上限10万円)



- (2) 会員団体コラボ事業【新規】  
 会員団体と共同で多文化理解や外国人住民と日本人住民の交流につながるイベント等を実施し、会員団体の活動活性化および市民全体の多文化共生意識醸成を図る。
- (3) 会員団体広報支援【継続】  
 協会の広報ツール（協会 Facebook、Instagram、ホームページ、会報誌等）を用い、会員団体の活動紹介やイベントの広報支援を行う。
- (4) グローバルサポーター派遣事業【継続】  
 外国人コミュニティや国際交流団体のネットワークを活用し、依頼に基づき外国出身の方や多文化共生に携わる方を「グローバルサポーター」として企業や団体等へ派遣し、国際理解講座等を行う。

## 6 広報 PR 事業

- (1) ホームページ、Facebook、Instagram の運営【継続】  
 (2) 会報誌「ユニバース」の発行【継続】

## 7 外国人生活相談窓口運営事業

- (1) 外国人生活相談窓口の運営【継続】  
 福島市と共同で外国人生活相談窓口の運営を行う。  
 ・ 相談員・職員対応言語：英語、フランス語、韓国語、日本語  
 ・ 翻訳機対応言語：110 言語以上
- (2) 出張相談窓口の開催【継続】  
 平日に相談窓口に来ることが難しい外国人住民向けに、休日に各地区へ出張し相談窓口を開設する。外国人の生活相談に対応するとともに、外国人同士の交流や日本語サロンとのタイアップによる日本人と外国人の交流機会の創設を図る。

## 8 その他

- (1) 後援・共催事業  
 (2) 研修・会議参加

< R4 年度事業と『多文化共生のまち福島推進指針』の対応 >

表 4) 令和 4 年度実施予定事業および施策目標の対応表

新規／継続	事業名	該当する指針施策目標
ふれあいネットワーク事業		
継続	英語講座	<b>1</b> 相互理解 <b>3</b> 国際理解推進
新規	花見ピクニック	
新規	わくわくアフリカンリズム	

継続	国際ボードゲーム大会	
新規	土湯おもてなし交流	
継続	わらじ祭り参加	
継続	ハロウィンクラフト	
継続	台湾フェス	
継続	和体験	① 相互理解
継続	クラフトエクスチェンジ	② 正確な情報・魅力発信
継続	留学生地域交流事業	① 相互理解 ③ 国際理解推進
結・ゆい・フェスタ開催事業		
継続	結・ゆい・フェスタ開催事業	① 相互理解 ③ コミュニティ形成支援
多文化共生支援事業		
継続	多言語情報発信	② 生活情報の多言語化
継続	ボランティア登録制度	④ 受け入れ環境整備
継続	消防通信指令課英会話レッスン	④ 受け入れ環境整備
継続	外国人防災サポーター養成講座	① 地域について学ぶ
新規	訪問型日本語教室	① 相互理解 ③ 円滑なコミュニケーション
国際交流団体等との連携事業		
継続	国際交流推進団体助成	① 相互理解 ③ コミュニティ形成支援 ⑥ 連携強化
新規	会員団体コラボ事業	③ コミュニティ形成支援 ⑥ 連携強化
継続	会員団体広報支援	③ コミュニティ形成支援 ⑥ 連携強化
継続	グローバルサポーター派遣事業	① 相互理解 ③ 国際理解推進
外国人生活相談窓口運営事業		
継続	外国人生活相談窓口の運営	② 生活情報の多言語化 ④ 受け入れ環境整備
継続	出張相談窓口の開催	⑤ ニーズ把握

役員や会員の皆様と協力した柔軟な事業展開を図ります。

【議案第4号】令和4年度収支予算（案）について

◎収支予算総括表 【(A) + (B) + (C) + (D)】

【収入の部】 令和4年度予算 9,967,449 円（前年度11,023,000円）  
 【支出の部】 令和4年度予算 9,967,449 円（前年度11,023,000円）

【収入の部】

（単位：円）

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
会費	405,000	285,000	120,000	(B) 市国際交流協会会費
参加費	50,000	70,000	△ 20,000	(A) ふれあいネットワーク事業参加費 50,000
補助金	8,422,000	8,147,000	275,000	(A) 市国際交流協会事業費補助金 2,000,000 (C) 外国人受入環境整備補助金 4,022,000 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金 2,400,000
負担金収入	200,000	—	200,000	(D) 結・ゆい・フェスタ出店負担金(会員団体分) 200,000
前年度繰越金	778,305	2,419,552	△ 1,641,247	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 83,768 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 629,088 (C) 外国人受入環境整備事業 35,649 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業 29,800
寄附金	100,000	100,000	0	(D) 結・ゆい・フェスタ協賛金
雑入	12,144	1,448	10,696	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業(預金利子) 6,232 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業(預金利子) 5,912
計	9,967,449	11,023,000	△ 1,055,551	

【支出の部】

（単位：円）

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
会議費	150,000	150,000	0	(B) 理事会、総会経費
事務費	206,600	177,196	29,404	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 100,000 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 100,000 (C) 外国人受入環境整備事業 6,600
事業費	9,225,400	8,682,804	542,596	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 1,940,000 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 570,000 (C) 外国人受入環境整備事業 4,015,400 (D) 結・ゆい・フェスタ開催事業 2,700,000
諸支出金	159,217	1,906,990	△ 1,747,773	(A) (公財) 福島県国際交流協会賛助会費 10,000 (A) R3年度市国際交流協会事業費補助金戻出 83,768 (C) R3年度外国人受入環境整備補助金戻出 35,649 (D) R3年度結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金戻出 29,800
予備費	226,232	106,010	120,222	(A) 市国際交流協会事業費補助金対象事業 6,232 (B) 市国際交流協会事業費補助金対象外事業 220,000
計	9,967,449	11,023,000	△ 1,055,551	

※科目間の流用については、会長に一任するものとする。

内訳は次ページに記載

## ◆福島市国際交流協会事業費補助金対象事業（A）

【収入の部】

（単位：円）

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
参加費	50,000	20,000	30,000	○ふれあいネットワーク事業参加費
補助金	2,000,000	2,125,000	△ 125,000	○福島市 事業費補助金
前年度繰越金	83,768	0	83,768	○福島市 事業費補助金戻入充当金
雑入	6,232	1,010	5,222	
計	2,140,000	2,146,010	△ 6,010	

【支出の部】

（単位：円）

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
事務費	100,000	150,000	△ 50,000	○事務用品購入
事業費	1,940,000	1,985,000	△ 45,000	○ふれあいネットワーク事業 700,000 ○多文化共生支援事業 200,000 ○国際交流団体との連携事業 800,000 ○広報PR事業 240,000
諸支出金	93,768	10,000	83,768	○（公財）福島県国際交流協会賛助会費 10,000 ○福島市 事業費補助金戻出 83,768
予備費	6,232	1,010	5,222	
計	2,140,000	2,146,010	△ 6,010	

## ◆福島市国際交流協会事業費補助金対象外事業（B）

【収入の部】

（単位：円）

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
会費	405,000	285,000	120,000	○一般会員1,000円×70名 70,000 ○学生会員500円×20名 10,000 ○団体会員10,000円×30団体 300,000 ○協賛会員5,000円×5団体 25,000
前年度繰越金	629,088	522,562	106,526	
雑入	5,912	438	5,474	○預金利息
計	1,040,000	808,000	232,000	

【支出の部】

（単位：円）

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
会議費	150,000	150,000	0	○理事会、総会開催費
事務費	100,000	0	100,000	○事務用品購入、年会費振込手数料
事業費	570,000	553,000	17,000	○会員向け会報誌・イベントチラシ送付 150,000 ○結ゆいフェスタ会員団体出展負担金（D口座へ支出） 200,000 ○会員グッズ等作成 220,000
予備費	220,000	105,000	115,000	
計	1,040,000	808,000	232,000	

◆福島市外国人受入環境整備事業 (C)

【収入の部】

(単位：円)

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
補助金	4,022,000	4,022,000	0	○福島市 外国人受入環境整備補助金 (運営事業) 4,022,000
前年度繰越金	35,649	1,896,990	△ 1,861,341	○外国人受入環境整備補助金戻入充当金
計	4,057,649	5,918,990	△ 1,861,341	

【支出の部】

(単位：円)

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
事務費	6,600	7,196	△ 596	○委託料振込手数料
事業費	4,015,400	4,014,804	596	○相談業務委託料 3,960,000 ○通信環境整備業務委託料 54,816 ○雑費 584
諸支出金	35,649	1,896,990	△ 1,861,341	○外国人受入環境整備補助金戻出
計	4,057,649	5,918,990	△ 1,861,341	

◆結・ゆい・フェスタ開催事業 (D)

【収入の部】

(単位：円)

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
参加費	0	50,000	△ 50,000	※R4年度は会員団体のみ出店
補助金	2,400,000	2,000,000	400,000	○福島市結ゆいフェスタ開催事業費補助
負担金収入	200,000	—	200,000	○会員団体出展負担金として会費収入【B口座】より支出
前年度繰越金	29,800	—	29,800	○結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金戻入充当金
寄附金	100,000	100,000	0	○結ゆいフェスタ協賛金@5,000円×20口
計	2,729,800	2,150,000	579,800	

【支出の部】

(単位：円)

科目	R4年度	R3年度	増△減	説明
事務費	0	20,000	△ 20,000	
事業費	2,700,000	2,130,000	570,000	○結・ゆい・フェスタ開催事業 ○結アンブレラスカイ ○出張！結ゆいフェスタ開催事業
諸支出金	29,800	—	29,800	○結・ゆい・フェスタ開催事業費補助金戻出
計	2,729,800	2,150,000	579,800	

## 福島市国際交流協会規約

(名称)

第1条 この会は、福島市国際交流協会（以下「協会」という。）という。

(事務所)

第2条 協会は、事務所を福島市五老内町3番1号に置く。

(目的)

第3条 協会は、福島市において自然、学術、文化等地域の特性を生かした国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を促進するとともに、国籍や文化的背景を異にする者同士が一人ひとりの多様性を尊重し、協力し合って地域社会の活力を創造する多文化共生のまちづくりに寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 協会は、前条に規定する目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 国際交流及び多文化共生に関する事業の企画及び実施
- (2) 諸外国との友好親善交流に関すること
- (3) 国際交流関係団体等との連絡調整に関すること
- (4) 国際交流及び多文化共生に関する調査、研究に関すること
- (5) 国際交流及び多文化共生に関する情報の収集及び提供並びに広報に関すること
- (6) その他目的を達成するために必要な事業

(会員及び会費)

第5条 協会の会員は、協会の目的に賛同し、入会を希望する個人又は法人若しくは団体をもって構成する。

2 協会の会費は、次の各号に掲げる会員の種類に応じ、当該各号に掲げる額とする。

- |              |    |    |         |
|--------------|----|----|---------|
| (1) 個人会員     | 年額 | 1口 | 1,000円  |
| (2) 学生会員     | 年額 | 1口 | 500円    |
| (3) 法人又は団体会員 | 年額 | 1口 | 10,000円 |
| (4) 協賛会員     | 年額 | 1口 | 5,000円  |

(協賛金)

第5条の2 協会の事業に賛同する者からの協賛金は、1口5,000円以上とし、寄付金として処理する。

(役員)

第6条 協会に次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 5人以内
- (3) 理事 若干名（会長及び副会長を含む。）
- (4) 監事 2人

(役員を選出)

第7条 理事及び監事は、総会において選任する。ただし、任期中に所属団体内で異動が生じた場合は、その役員が属する団体から補充された者をもって充てる。

- 2 会長及び副会長は、理事の互選により選任する。
- 3 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(役員職務)

第8条 会長は、協会を代表し、会務を総理する。ただし、会長所在の市町村より交付を受ける負担金等に係る職務については、会長が指名した副会長が統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、会長があらかじめ指定した副会長が、その職務を代理し、会長が欠けたときは、その職務を行う。
- 3 理事は、理事会を構成し、業務の執行を決定する。

4 監事は、協会の会計を監査する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第10条 会長は理事会の承認を得て、顧問を置くことができる。

(会議)

第11条 協会の会議は、総会及び理事会とし、会長が招集し、その議長となる。

2 総会は、毎年1回開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時に総会を開催することができる。

3 総会は、次の各号に掲げる事項を議決する。

(1) 規約の制定及び改廃に関する事

(2) 役員選任に関する事

(3) 事業計画に関する事

(4) 予算及び決算に関する事

(5) その他の重要な事項に関する事

4 理事会は、協会の運営に関する重要事項を議決する。

5 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。

(事務局)

第12条 協会の事務を処理するため、協会に事務局を置く。

2 事務局に事務局長その他の職員を置く。

3 事務局その他の職員は、会長が任免する。

(経費の支弁)

第13条 協会の経費は、会費、補助金、寄付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(委任)

第15条 この規約に定めるもののほか、協会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

#### 附 則

1 この規約は、1994年(平成6年)3月28日から施行する。

2 協会の設立当初の役員は、第7条第1項及び第2項の規定にかかわらず、別表役員名簿のとおりとし、その任期は、第9条第1項の規定にかかわらず1996年(平成8年)3月31日までとする。

3 協会の設立初年度の会計年度は、第13条の規定にかかわらず、設立の日から1995年(平成7年)3月31日までとする。

4 第7条及び第9条の規定にかかわらず、第9条の役員任期が満了する場合において、災害その他緊急事態の発生等特別の事情があると認めるときは、理事会に諮り、その役員任期を1年を超えない範囲内で延長することができる。

#### 附 則

この規約は、1995年(平成7年)4月28日から施行する。

#### 附 則

この規約は、2005年(平成17年)5月8日から施行する。

#### 附 則

この規約は、2008年(平成20年)6月1日から施行する。

附 則

この規約は、2020年（令和2年）5月22日から施行し、改正後の福島市国際交流協会規約の規定は、令和2年4月1日から適用する。

附 則

この規約は、2021年（令和3年）令和3年4月1日から施行する。



# 福島市国際交流協会 役員名簿

R4.4.24現在

(敬称略)

令和3年度～令和4年度		
役職名	氏名	職名
会 長	木 幡 浩	(福島市長)
副 会 長	佐 藤 美奈子	(福島商工会議所 女性会)
〃	田 中 明	(福島大学 国際交流センター長)
理 事	ガラル 真紀	(一般社団法人福島市観光コンベンション協会)
〃	田 中 宏 幸	(独立行政法人国際協力機構二本松青年海外協力隊訓練所 所長)
〃	廣 澤 俊 樹	(国際ロータリー-第2530地区 地区研修委員)
〃	三 瓶 千香子	(桜の聖母短期大学 生涯学習センター長)
〃	永 島 恭 子	(一般社団法人ふくしま多言語フォーラム 代表理事)
監 事	永 倉 禮 司	(ふくしま・ベトナム友好協会 監事)
〃	渡 辺 都	(国際ソロプチミスト福島 会長)
顧 問	永 澤 信 弘	(ふくしま未来農業協同組合 福島地区役員代表)
〃	黒 澤 宣 昭	(福島ユネスコ協会 会長)
〃	山 田 明 生	(福島市日本中国友好協会 会長)
〃	太 田 英 晴	(福島日仏協会 理事長)